

令和4年度

事業報告（案）

財務諸表（案）

公益社団法人競走馬育成協会

令和4年度

# 事業報告（案）

（令和4年1月1日～令和4年12月31日まで）

公益社団法人競走馬育成協会

## 令和4年度 事業報告（案）

公益社団法人競走馬育成協会

### 概況

令和4年度もコロナに加えてロシアのウクライナ侵攻、これらに伴うインフレなどにより世情は不安定であったが、中央競馬は中断することなく開催され、競馬場の入場制限緩和、タイトルホルダー、スターズオンアースやイクイノックスのGI連勝、新人の今村聖奈騎手の活躍などの話題もあり、売得金は前年比105.3%を記録した。

セリ市場も好調が続いているが、協会が支援する2歳トレーニングセールはコロナ以降に導入された方式、すなわち千葉はオンラインオークション、北海道とJRAブリーズアップセールはハイブリッド方式で開催され、いずれも活況であった。このような中、当協会も「ウイズコロナ」時代への適応を試みながら、各施策にあたった。

育成技術講習会については、東北と九州では昨年に引き続き開催、2年連続で中止となった北海道も感染対策に配慮した上で再開することができた。一方、関東および関西は感染拡大の危惧から中止のやむなきに至った。

就業者参入促進事業（BOKUJOB）では、上半期に予定していた見学会やフェアは前年に続いて取り止めたものの、「研修コース体験入学会」は開催、「夏休み牧場で働こう体験会」も3年ぶりに再開した。一方、令和2年度から実施している「Web相談会」を通年で実施したことに加え、その拡大版と位置付けられる「Webフェア」を計5回開催した。

競走馬育成技術表彰は、会員育成馬の勝利数および該当率が引き続き高水準を維持しており、会員牧場の育成技術の高さが窺えた。また、競馬場における表彰式を、計画した2歳重賞競走でコロナ前同様に実施した。

その他、修学奨励金交付、競馬関連機材等有効活用、利子補給、協会誌発行等を例年通り実施した。

### 1. 軽種馬の育成調教技術の向上に関する普及、啓発及び指導

#### 1) 育成技術講習会の開催（公益事業）

例年、軽種馬の生産、育成、調教に関する知識習得と技術向上を目的とし、当協会の5地区においてJRAおよび公益財団法人軽種馬育成調教センター（BTC）との連携・共催による講習会を開催し、会員のみならず一般からの参加も得ている。令和2年および3年度は、新型コロナの影響により小規模の東北と九州地区のみでの開催となったが、本年については北海道地区も再開できた。一方、関東および関西地区は、主催者であるJRAの判断により会員の参加は見送られた。他には、生産育成技術に関する講習動画の協会ホームページへの掲載や、会員のJRA主催オンラインセミナー参加の手配を行った。

## 2) 競走馬育成調教技術表彰事業（公益事業）

競走馬の育成調教の技術向上、育成調教者の経営基盤強化および意欲増進を図るため、成績優秀な競走馬の育成者を表彰した。

表彰対象 560 競走のうち、59 会員の育成馬が優勝した 351 競走について表彰を実施した。表彰の該当率は 62.7%、とくに 2 歳新馬競走で 80.9%、2 歳重賞・リステッド競走では 90.0%と引き続き高い水準にあり、会員が業務に精励した成果が表れた。さらに、3 年ぶりに再開した開催場における育成協会会長表彰の対象である 2 歳ステークス競走 6 競走（札幌・函館・新潟・小倉・京王杯・デイリー杯）でも、新潟を除く 5 競走で会員の育成馬が優勝し、会員の高い育成技術の証左となった。

	表彰対象 競走数	前年比	会員優勝馬 表彰該当数	前年比	該当率	前年比
3 歳新馬競走	45	±0	39	+5	86.7%	+11.1P
2 歳新馬競走	256	+4	207	+2	80.9%	-0.5P
2 歳重賞 ・ リステッド競走	20	±0	18	-1	90.0%	-5.0P
3 歳以上重賞 ・ リステッド競走	176	-1	60	-15	34.1%	-8.3P
障害重賞競走	10	±0	1	+1	10.0%	+10.0P
上記以外の 平地オープン競走 (2・3 歳限定を除く)	53	±0	26	+6	49.1%	+11.3P
計	560	+3	351	-2	62.7%	-0.7P

## 2. 軽種馬の育成調教に関する調査及び研究（公益事業）

競走馬の育成調教技術の向上と牧場環境の改善に資するため、育成牧場における調教、施設、経営、人材の実態を調査した。なお、過去の調査結果は協会ホームページに掲載し、公表している。

## 3. 軽種馬の育成調教に係わる人材の確保・養成に関する支援（公益事業）

### 1) 生産育成調教牧場への就業者参入促進事業（BOKUJOB）

競走馬の生産育成分野で働く人材の確保を目的とし、当協会をはじめとした 5 団体で構成する牧場就業促進事務局（BOKUJOB 事務局）が事業を行った。

令和 4 年度も、新型コロナ感染拡大防止のため「BOKUJOB メインフェア」「BOKUJOB 関西フェア」「牧場見学会」の実施を見合わせ、代替策として「Web 相談会」、「Web フェ

ア」を開催した。一方、「牧場で働こう体験会」および「研修コース合同体験入学会」は計画のとおり実施した他、競馬場の入場制限緩和に伴ってサポートデスクを再開した。

#### ① 牧場就業促進ウェブサイトの運営と保守管理

BOKUJOB ウェブサイトは、コロナ禍で訪問者が増加、令和元年のリニューアルによりスマートフォンからのアプローチが容易となったため、令和4年度も70%以上がスマホ利用者であった。

	延べ訪問者数	新規訪問者数	新規訪問者数 スマホ利用者内数	スマホ利用率
令和4年	260,462	164,645	124,402	75.1%
令和3年	274,561	186,256	140,402	75.4%
令和2年	203,603	136,393	107,416	78.8%
令和元年	138,613	84,618	64,592	76.3%
平成30年	115,610	69,355	50,279	72.5%
平成29年	133,912	81,357	54,151	66.6%
平成28年	148,923	88,473	54,641	61.8%
平成27年	160,488	87,994	51,302	58.3%
平成26年	157,194	54,585	28,722	52.6%

※ 平成30年は1～10月の旧サイトと11～12月の新サイトの合計

#### ② サポートデスク

令和4年度は、インターハイ馬術競技会（静岡県）や日本学校農業クラブ全国大会（福井県、石川県）に加え、新たにノーザンホースパーク（北海道）や国体（栃木県）の馬術競技会場にブースを開設した。競馬場でも3年ぶりに再開し、BOKUJOB活動を広報するとともに牧場業務に関する相談を受け付けた。

	開催日	来場者			
		令和4年	令和3年	令和2年	令和元年
ノーザンホースパーク	5月20～22日	60			
	6月17～19日	82			
	7月22～24日	53			
	8月8～10日	135			
	9月16～18日	128			
御殿場市馬術スポーツセンター	7月23～24日	42	45		52
札幌競馬場	8月13～14日	39			17
小倉競馬場	9月3～4日	43			51
中京競馬場	9月10～11日	44			26
東京競馬場	11月19～20日	92			

阪神競馬場	12月3～4日	59			
地方競馬教養センター	10月8～9日	155			
日本学校農業クラブ全国大会	10月26～27日	175	176		8

※ 令和2年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により全てのサポートデスクを中止。

### ③ 牧場で働こう体験会

夏休み期間を利用して5泊6日の日程で牧場での就業体験、BTCとJBBAでの研修体験、施設見学等の機会を提供した。参加者には事前にPCR検査受検を求め、最寄りのホテルから牧場まで送迎した。

- ・ 7月31日（日）～8月5日（金） 参加者数13名
- ・ 体験受入牧場：杵臼牧場、谷口牧場浦河育成センター、笹島智則牧場、岡田牧場目名共同トレーニングセンター、グランド牧場

### ④ BOKUJOB号（就業体験応援バス）

牧場での就労体験を促進するため、「牧場で働こう体験会」の落選者および個別の牧就業体験希望者を対象に、新千歳空港と日高地区を結ぶ送迎バスを運行した。

- ・ 8月1日（月）新千歳空港→浦河 参加者2名
- ・ 8月6日（土）浦河→新千歳空港 参加者1名

### ⑤ 研修コース合同体験入学会

牧場での就業に必要な技術や知識の習得を目的にBTCやJBBAでの研修受講を検討している者を対象に、体験入学会を実施した。募集は各回15名とし、カリキュラム体験、教官や研修生との交流を通じ、研修を具体的にイメージできるような内容とした。

- ・ A日程 7月20日（水）～22日（金）
- ・ B日程 8月17日（水）～19日（金）

### ⑥ Web相談会、Webフェア

コロナ禍のため中止した対面式相談会に代えて引き続き実施した。

#### ・ Web相談会

令和2年度後半にビデオ会議ツール（Zoom）を使用した個別面談形式の相談会を開始、令和3年度からは要望に応じて通年で開催している。

#### ・ Webフェア

メインフェアと関西フェアの代替イベントとして引き続き開催した。イベントとして集中的に広報展開するとともに、面談を効率よく実施するため新たに特設マッチングサイトを運用した。

Webフェアの期間中は参加牧場およびBOKUJOB関連団体の「職場・活動紹介」「求

人・募集アピール」「Web 講演会」等の動画をウェビナーとして「BOKUJOB YouTube チャンネル」で生配信するとともに、同チャンネルのアーカイブとして牧場就業を目指す者のための情報資源として活用した。

#### Web フェア（6 月）

実施日・場所：6 月 4 日（土）・5 日（日） 新ひだか町コミュニティセンター  
6 月 11 日（土）・12 日（日） 競走馬育成協会（新橋）  
6 月 18 日（土）・19 日（日） 競走馬育成協会（新橋）  
6 月 25 日（土）・26 日（日） JBBA 九州種馬場

方 式：特設マッチングサイトによる個別面談（1 面談約 30 分）

就業相談希望者：64 名（内 58 名が延べ 215 面談）

参 加 団 体：18 牧場、4 団体（研修機関等）

#### Web フェア（秋）

実施日・場所：11 月 3 日（木）・5 日（土）・6 日（日） 競走馬育成協会（新橋）

方 式：特設マッチングサイトによる個別面談（1 面談約 30 分）

就業相談希望者：37 名（内 26 名が延べ 114 面談）

参 加 団 体：15 牧場、4 団体（研修機関等）

#### ⑦ BOKUJOB YouTube チャンネル

就労希望者に求人牧場を詳しく知ってもらうため、紹介動画を配信。

配信期間：6 月 15 日（水）から原則毎週水曜日に更新

配信牧場数：35 牧場

内容：牧場の概要やアピールポイント等の紹介

### 2) 担い手育成事業

#### ① 修学奨励金交付事業

BTC 育成調教技術者養成研修および JBBA 生産育成技術者研修の令和 4 年度入講生各 1 名に対し、修学奨励金を交付した。

#### ② 生産育成技術者海外派遣

生産育成技術者養成機関の卒業生や、牧場従業員等の長期または短期の海外研修を支援しているが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、前年に続いて見合わせた。

### 4. 軽種馬の育成調教に係わる競争力の向上に対する支援（共益事業）

#### 1) セリ市場の振興

若馬育成調教の成果が反映されやすい 2 歳トレーニングセールを対象に、地域団体による後援や実務援助を実施した。

## 2) 育成調教施設等の整備に対する助成事業

### ① 軽種馬生産育成強化資金利子補給事業

育成施設の整備等を目的に会員が受けた融資の利子負担軽減を図るため、公益財団法人全国競馬・畜産振興会から軽種馬生産育成強化資金を受け、令和4年度は新規案件3件、継続案件14件について利子補給を実施した。

### ② 競馬関連機材等有効活用事業

JRA等で使用しなくなった競馬関連の機器・資材などを会員に斡旋し、有効活用した。令和4年度は2回の抽選会を実施し、馬運車1台、ウニモグ2台、トラクター2台、乗用車4台、ハロー類2台、馬場柵類1セット、発馬機3台の合計15件について募集を行い、全ての引き取りが完了した。

### ③ 畜産近代化リース事業

公益財団法人畜産近代化リース協会の行う畜産リース事業について、令和4年度は会員からの新規案件の申請はなかった。

## 5. 軽種馬の育成調教に関する情報発信（公益事業）

協会誌「いくせい」の60号（10月1日付）を発行し、会員に競走馬の飼養管理や育成技術の向上に役立つ情報を提供した。また、協会ホームページ等を通じ、育成調教に関する情報を発信した。

## 6. 軽種馬の育成調教に係わる国際交流（公益事業）

例年実施している海外研修を通じた情報交換や、関係団体が構成する連絡協議会の開催は、新型コロナウイルスの感染拡大により見送られた。

## 7. 協会の運営、組織、その他必要な監査等

### 1) 定時総会

2月18日14:00～ 新橋分館4階会議室

書面および通信を利用して要件を満たしたハイブリッド総会として開催

議案：令和3年度事業報告及び財務諸表について

令和4年度会費等の額及び徴収の方法について

理事および監事の選任について

### 2) 理事会

#### ① 第1回理事会（定例）（書面決議）

1月19日 提案書の発出



1月25日 決議があったとみなされた日

議案：令和3年度事業報告及び財務諸表について

令和4年度定時総会の開催について（日程、場所、提出議案）

令和4年度総会における議決権行使書及び委任状について

令和4年度業務委託費の配分方法について

③ 第2回理事会（臨時）（書面決議）

2月4日 提案書の発出

2月11日 決議があったとみなされた日

議案：理事及び監事の選任について

④ 第3回理事会（臨時）（書面決議）

2月18日 提案書の発出

2月28日 決議があったとみなされた日

議案：副会長の選任について

⑤ 第4回理事会（定例）

12月9日 14:00～ 新橋分館4階会議室

議案：令和5年度事業計画及び収支予算について

⑥ 入会の承認に関する臨時書面理事会

3月15日 1件

12月23日 1件

3) JRAとの育成等に関する懇談会

9月30日 10:00～ JRA本部4階408会議室

懇談内容：セリ市場の動向について

育成牧場における人材確保と養成（BOKUJOB）について

育成等を取り巻く情勢について

その他

4) 協会の組織

① 会員数の動向

	北海道	東北	関東	関西	九州	計	賛助会員
令和3年12月31日	82	9	49	30	18	188	8
増加	2	0	0	1	0	3	0
減少	1	0	1	2	0	4	0
令和4年12月31日	83	9	48	29	18	187	8

② 役員の動向

令和4年度は役員の結果、以下のとおりとなった。

会長理事 栗田 晴夫 非常勤

副会長理事	佐藤 光信	常勤	常務理事兼務 (2月28日退任)
副会長理事	和田 信也	常勤	常務理事兼務 (3月1日 就任)
副会長理事	飯田 正剛	非常勤	
理事	荻野 豊	非常勤	
理事	高橋 司	非常勤	
理事	沖崎誠一郎	非常勤	
理事	中内田克二	非常勤	
理事	柏木 務	非常勤	
理事	宮島 成郎	非常勤	
理事	織田 信美	非常勤	
監事	五島 崇	非常勤	
監事	岩崎 幸治	非常勤	(2月18日就任)

⑦ 職員等の動向

令和3年12月31日	退任・転出	就任・転入	令和4年12月31日
—	—	—	—

令和4年度

# 財 務 諸 表 （ 案 ）

（令和4年1月1日～令和4年12月31日まで）

公益社団法人 競走馬育成協会

# 貸借対照表(案)

令和4年12月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	32,358	44,753	△ 12,395
預 金	62,964,581	58,855,485	4,109,096
未収金	0	76,393	△ 76,393
流動資産合計	62,996,939	58,976,631	4,020,308
2 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付等引当資産	560,000	3,212,868	△ 2,652,868
特定預金	16,789,072	9,388,541	7,400,531
特定資産合計	17,349,072	12,601,409	4,747,663
(2) その他固定資産			
什器備品	0	0	0
電話加入権	229,320	229,320	0
その他固定資産合計	229,320	229,320	0
固定資産合計	17,578,392	12,830,729	4,747,663
資産合計	80,575,331	71,807,360	8,767,971
II 負債の部			
1 流動負債			
未払費用	41,588,113	39,550,388	2,037,725
預り金	197,832	280,883	△ 83,051
賞与引当金	90,666	86,666	4,000
流動負債合計	41,876,611	39,917,937	1,958,674
2 固定負債			
役員退職慰労引当金	0	2,972,868	△ 2,972,868
退職給付引当金	560,000	240,000	320,000
固定負債合計	560,000	3,212,868	△ 2,652,868
負債合計	42,436,611	43,130,805	△ 694,194
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
受取補助金等	16,789,072	9,388,541	7,400,531
指定正味財産合計	16,789,072	9,388,541	7,400,531
(うち特定資産への充当額)	(16,789,072)	(9,388,541)	△ 7,400,531
2 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	21,349,648 (0)	19,288,014 (0)	2,061,634 (0)
正味財産合計	38,138,720	28,676,555	9,462,165
負債及び正味財産合計	80,575,331	71,807,360	8,767,971

# 貸借対照表内訳表(案)

令和4年12月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1 流動資産					
現金	0	0	32,358	0	32,358
預 金	1,061,356	38,325,893	23,577,332	0	62,964,581
未収金	0	0	0	0	0
流動資産合計	1,061,356	38,325,893	23,609,690	0	62,996,939
2 固定資産					
(1) 特定資産					
退職給付等引当資産	280,000	179,200	100,800	0	560,000
特定預金	16,789,072	0	0	0	16,789,072
特定資産合計	17,069,072	179,200	100,800	0	17,349,072
(2) その他固定資産					
什器備品	0	0	0	0	0
電話加入権	114,660	73,382	41,278	0	229,320
その他固定資産合計	114,660	73,382	41,278	0	229,320
固定資産合計	17,183,732	252,582	142,078	0	17,578,392
資産合計	18,245,088	38,578,475	23,751,768	0	80,575,331
II 負債の部					
1 流動負債					
未払費用	1,016,023	38,287,884	2,284,206	0	41,588,113
預り金	0	8,996	188,836	0	197,832
賞与引当金	45,333	29,013	16,320	0	90,666
流動負債合計	1,061,356	38,325,893	2,489,362	0	41,876,611
2 固定負債					
役員退職慰労引当金	0	0	0	0	0
退職給付引当金	280,000	179,200	100,800	0	560,000
固定負債合計	280,000	179,200	100,800	0	560,000
負債合計	1,341,356	38,505,093	2,590,162	0	42,436,611
III 正味財産の部					
1 指定正味財産					
受取補助金等	16,789,072	0	0	0	16,789,072
指定正味財産合計	16,789,072	0	0	0	16,789,072
(うち特定資産への充当額)	(16,789,072)	(0)	(0)	(0)	(16,789,072)
2 一般正味財産					
(うち特定資産への充当額)	114,660 (0)	73,382 (0)	21,161,606 (0)	0 (0)	21,349,648 (0)
正味財産合計	16,903,732	73,382	21,161,606	0	38,138,720
負債及び正味財産合計	18,245,088	38,578,475	23,751,768	0	80,575,331

# 正味財産増減計算書(案)

令和4年1月1日 ～ 令和4年12月31日

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減額
I 一般正味財産増減の部			
I 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	30,000	60,000	△ 30,000
受取入会金	30,000	60,000	△ 30,000
受取会費	6,140,000	5,958,000	182,000
受取会費	6,060,000	5,878,000	182,000
受取賛助会費	80,000	80,000	0
受取補助金等	134,995,226	144,236,958	△ 9,241,732
JRA受取助成金	60,036,728	53,163,270	6,873,458
全競畜振助成金	9,254,711	9,792,621	△ 537,910
NAR受取補助金振替額	65,703,787	81,281,067	△ 15,577,280
特定資産受取利息	11	46	△ 35
特定資産受取利息	11	46	△ 35
雑収益	450,760	600,700	△ 149,940
受取利息	760	700	60
雑収益	450,000	600,000	△ 150,000
経常収益計	141,615,997	150,855,704	△ 9,239,707
(2) 経常費用			
事業費	131,586,904	141,740,352	△ 10,153,448
役員報酬	7,074,402	5,418,626	1,655,776
給与手当	11,026,889	10,590,196	436,693
社会保険負担	2,966,415	2,571,282	395,133
厚生費	65,007	43,762	21,245
役員退職慰労金	128,302	513,211	△ 384,909
退職給付費用	262,400	196,800	65,600
機材有効活用事務費	11,350	4,800	6,550
育成技術向上推進費	398,588	261,685	136,903
2歳育成馬トレーニングセール推進費	0	0	0
育成情報誌発行費	391,441	338,775	52,666
業務委託費	1,048,000	1,048,000	0
育成技術表彰費	29,911,840	26,206,047	3,705,793
物品費	108,900	261,770	△ 152,870
光熱水料費	167,105	102,486	64,619
借損料費	2,067,356	2,049,809	17,547
雑役務費	1,000,336	1,019,469	△ 19,133
利子補給事業費	8,561,316	9,244,080	△ 682,764
育成技術者海外研修費	0	0	0
修学奨励金	831,000	2,206,080	△ 1,375,080
牧場就業促進費	58,049,822	72,854,729	△ 14,804,907
推進事務費	7,516,435	6,808,745	707,690
減価償却費	0	0	0
管理費	7,967,459	7,277,905	689,554
役員報酬	1,552,918	1,189,454	363,464
給与手当	2,420,536	2,324,677	95,859
社会保険負担	651,164	564,428	86,736
厚生費	14,270	9,606	4,664
役員退職引当繰入	28,164	112,656	△ 84,492
退職給付費用	57,600	43,200	14,400
旅費	322,108	71,723	250,385

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減額
交通費	11,240	7,240	4,000
図書費	153,061	153,061	0
印刷費	52,800	44,000	8,800
通信運搬費	350,170	456,144	△ 105,974
物品費	72,600	174,512	△ 101,912
光熱水料費	71,617	43,923	27,694
消耗品費	85,930	76,811	9,119
借損料費	886,009	878,489	7,520
雑役務費	219,586	223,786	△ 4,200
租税公課	0	0	0
雑費	201,952	183,235	18,717
雑損費	10,000	10,000	0
会議費	805,734	710,960	94,774
減価償却費	0	0	0
経常費用計	139,554,363	149,018,257	△ 9,463,894
評価損益等調整前当期経常増減額	2,061,634	1,837,447	224,187
特定資産評価益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,061,634	1,837,447	224,187
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,061,634	1,837,447	224,187
一般正味財産期首残高	19,288,014	17,450,567	1,837,447
一般正味財産期末残高	21,349,648	19,288,014	2,061,634
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	73,161,019	67,413,902	5,747,117
受取補助金	73,161,019	67,413,902	5,747,117
雑収益	228	285	△ 57
受取利息	228	285	△ 57
雑収益	0	0	0
受取補助金返還益	0	0	0
受取補助金返還金	△ 229	△ 285	56
受取補助金返還損	△ 56,700	0	△ 56,700
一般正味財産への振替額	△ 65,703,787	△ 81,281,067	15,577,280
当期指定正味財産増減額	7,400,531	△ 13,867,165	21,267,696
指定正味財産期首残高	9,388,541	23,255,706	△ 13,867,165
指定正味財産期末残高	16,789,072	9,388,541	7,400,531
III 正味財産期末残高	38,138,720	28,676,555	9,462,165

# 正味財産増減計算書内訳表(案)

令和4年1月1日 ～ 令和4年12月31日

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	他1			
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
<b>1 経常増減の部</b>					
(1) 経常収益					
受取入会金	6,821	8,013	15,166	0	30,000
受取入会金	6,821	8,013	15,166	0	30,000
受取会費	1,457,758	1,618,619	3,063,623	0	6,140,000
受取会費	1,377,758	1,618,619	3,063,623	0	6,060,000
受取賛助会費	80,000	0	0	0	80,000
受取補助金等	80,413,726	47,631,881	6,949,619	0	134,995,226
JRA受取助成金	14,709,939	38,377,170	6,949,619	0	60,036,728
全競畜振助成金	0	9,254,711	0	0	9,254,711
NAR受取補助金振替額	65,703,787	0	0	0	65,703,787
特定資産受取利息	0	11	0	0	11
特定資産受取利息	0	11	0	0	11
雑収益	0	450,075	685	0	450,760
受取利息	0	75	685	0	760
雑収益	0	450,000	0	0	450,000
経常収益計	81,878,305	49,708,599	10,029,093	0	141,615,997
(2) 経常費用					
事業費	81,878,305	49,708,599	0	0	131,586,904
役員報酬	4,313,660	2,760,742	0	0	7,074,402
給与手当	6,723,713	4,303,176	0	0	11,026,889
社会保険負担	1,808,790	1,157,625	0	0	2,966,415
厚生費	39,638	25,369	0	0	65,007
役員退職慰労金	78,233	50,069	0	0	128,302
退職給付費用	160,000	102,400	0	0	262,400
機材有効活用事務費	0	11,350	0	0	11,350
育成技術向上推進事業費	398,588	0	0	0	398,588
2歳育成馬トレーニングセール推進費	0	0	0	0	0
育成情報誌発行事業費	391,441	0	0	0	391,441
業務委託費	0	1,048,000	0	0	1,048,000
育成技術表彰事業費	0	29,911,840	0	0	29,911,840
物品費	54,450	54,450	0	0	108,900
光熱水料費	119,361	47,744	0	0	167,105
借損料費	1,476,683	590,673	0	0	2,067,356
雑役務費	609,961	390,375	0	0	1,000,336
利子補給事業費	0	8,561,316	0	0	8,561,316
育成技術者海外研修費	0	0	0	0	0
修学奨励金	831,000	0	0	0	831,000
牧場就業促進費	58,049,822	0	0	0	58,049,822
推進事務費	6,822,965	693,470	0	0	7,516,435
減価償却費	0	0	0	0	0
管理費	0	0	7,967,459	0	7,967,459
役員報酬	0	0	1,552,918	0	1,552,918
給与手当	0	0	2,420,536	0	2,420,536
社会保険負担	0	0	651,164	0	651,164
厚生費	0	0	14,270	0	14,270
役員退職引当繰入	0	0	28,164	0	28,164
退職給付費用	0	0	57,600	0	57,600
旅費	0	0	322,108	0	322,108



(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	他1			
交通費	0	0	11,240	0	11,240
図書費	0	0	153,061	0	153,061
印刷費	0	0	52,800	0	52,800
通信運搬費	0	0	350,170	0	350,170
物品費	0	0	72,600	0	72,600
光熱水料費	0	0	71,617	0	71,617
消耗品費	0	0	85,930	0	85,930
借損料費	0	0	886,009	0	886,009
雑役務費	0	0	219,586	0	219,586
租税公課	0	0	0	0	0
雑費	0	0	201,952	0	201,952
雑損費	0	0	10,000	0	10,000
会議費	0	0	805,734	0	805,734
減価償却費	0	0		0	0
経常費用計	81,878,305	49,708,599	7,967,459	0	139,554,363
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	2,061,634	0	2,061,634
特定資産評価益等					
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	2,061,634	0	2,061,634
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	2,061,634	0	2,061,634
一般正味財産期首残高	114,660	73,382	19,099,972	0	19,288,014
一般正味財産期末残高	114,660	73,382	21,161,606	0	21,349,648
II 指定正味財産増減の部					
受取補助金等	73,161,019	0	0	0	73,161,019
受取補助金	73,161,019	0	0	0	73,161,019
雑収益	228	0	0	0	228
受取利息	228	0	0	0	228
雑収益	0	0	0	0	0
受取補助金返還益	0	0	0	0	0
受取補助金返還金	△ 229	0	0	0	△ 229
受取補助金返還損	△ 56,700	0	0	0	△ 56,700
一般正味財産への振替額	△ 65,703,787	0	0	0	△ 65,703,787
当期指定正味財産増減額	7,400,531	0	0	0	7,400,531
指定正味財産期首残高	9,388,541	0	0	0	9,388,541
指定正味財産期末残高	16,789,072	0	0	0	16,789,072
III 正味財産期末残高	16,903,732	73,382	21,161,606	0	38,138,720

## 財務諸表に対する注記

### 1. 継続組織の前提に関する注記

該当なし。

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却方法について

該当なし。

#### (2) 引当金の計上基準について

##### 役員退職慰労引当金

役員の退任に伴う退職慰労金の支給に備え、規程に基づく期末要支給額を計上している。

##### 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

##### 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込み額のうち当期に帰属する額を計上している。

#### (3) リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

### 3. 会計方針の変更

該当なし。

### 4. 特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付等引当資産	3,212,868	320,000	2,972,868	560,000
特定預金	9,388,541	16,789,072	9,388,541	16,789,072
計	12,601,409	17,109,072	12,361,409	17,349,072

### 5. 特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付等引当資産	560,000	(0)	(0)	(560,000)
特定預金	16,789,072	(16,789,072)	(0)	(0)
計	17,349,072	(16,789,072)	0	(560,000)

6. 担保に供している資産

該当なし。

7. 補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交 付 者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助 成 金	日本中央競馬会	0	60,036,728	60,036,728	0	
助 成 金	(公財)全国競馬・畜産振興会	0	9,254,711	9,254,711	0	
補助事業費	地方競馬全国協会	9,388,541	73,161,247	65,760,716	16,789,072	固定資産
計		9,388,541	142,452,686	135,052,155	16,789,072	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金額
経常収益への振替額	
受取補助金等計上による振替額	65,703,787
計	65,703,787

9. 保証債務等の偶発債務、関連当事者との取引の内容、重要な後発事象

該当なし。

## 附 属 明 細 書

### 1. 特定資産の明細

「財務諸表に対する注記」の「4. 特定資産の増減及びその残高」に記載しているため記載を省略する。

### 2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	86,666	4,000	0	0	90,666
役員退職慰労引当金	2,972,868	156,446	3,129,314	0	0
退職給付引当金	240,000	320,000	0	0	560,000

# 財 産 目 録

令和4年12月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	32,358
	預金	普通預金	運転資金として	62,964,581
		三菱東京UFJ銀行本店		
流動資産合計				62,996,939
(固定資産)				
特定資産	退職給付等引当資産	定期預金	役員退任及び職員退職給付引当金見合の引当資産として管理している。	560,000
		三菱東京UFJ銀行本店		
	特定預金	普通預金	指定正味財産として公益目的事業の用に供している。	16,789,072
		三菱東京UFJ銀行本店		
その他固定資産	電話加入権	3回線	公益目的保有財産であり、公益目的事業及びその他の事業(相互扶助等事業)並びに管理運営の用に供している。	229,320
			上記のうち、 公益目的保有財産の期末簿価 114,660 その他の事業(相互扶助等事業)及び管理運営の用に供している資産の期末簿価	
固定資産合計				17,578,392
資産合計				80,575,331
(流動負債)	未払費用	港年金事務所	公益目的事業及びその他の事業(相互扶助等事業)並びに管理運営に供する社会保険料の未払分	51,799
		キャノン販売(株)	公益目的事業及びその他の事業(相互扶助等事業)並びに管理運営に供する諸経費の未払分	35,847
		ニフティ(株)	公益目的事業及びその他の事業(相互扶助等事業)に供する諸経費の未払分	5,535
		富士通アドテクノロジー(株)	その他の事業(相互扶助等事業)に供する諸経費の未払分	4,180
		大城公認会計士事務所	公益目的事業及びその他の事業(相互扶助等事業)並びに管理運営に供する諸経費の未払分	300,000
		日本中央競馬会	公益目的事業及びその他の事業(相互扶助等事業)並びに管理運営に供する事務所賃料の未払分	973,766
		社台ファーム他	その他の事業(相互扶助等事業)に供する表彰費の未払分	28,128,000
		北海道銀行早来支店他	その他の事業(相互扶助等事業)に供する利子補給費の未払分	4,320,192
		NTTファイナンス(株)	管理運営の用に供している諸経費の未払分	15,533
		日本中央競馬会	助成金返還分	2,032,272
		(公財)全国競馬・畜産振興会	助成金返還分	5,485,289
		(株)トヨタレンタリース	その他の事業(相互扶助等事業)に供する諸経費の未払分	50,118
		(株)マイナビワークス	その他の事業(相互扶助等事業)に供する諸経費の未払分	185,582
			<未払費用計>	41,588,113
	預り金	役職員	社会保険料	197,832
	賞与引当金	職員	公益目的事業及びその他の事業(相互扶助等事業)並びに管理運営業務に従事する職員の賞与引当金	90,666
流動負債合計				41,876,611
(固定負債)	退職給付引当金	職員分	公益目的事業及びその他の事業(相互扶助等事業)並びに管理運営業務に従事する職員の退職給付金の引当金	560,000
固定負債合計				560,000
負債合計				42,436,611
正味財産				38,138,720

# 監 査 報 告

公益社団法人競走馬育成協会

会長理事 栗田 晴夫 殿

私は、令和4年1月1日から令和4年12月31日までの令和4年度における監査を実施したので、次のとおり報告します。

## 1 監査の方法の概要

理事会に出席し理事から業務の報告を聴取して、業務執行の妥当性を検討しました。

また、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書及び財産目録について正確性を検討しました。

## 2 監査意見

- (1) 事業報告の内容は真実であると認めます。
- (2) 貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書及び財産目録は、正しく示していると認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

2023年1月11日

監 事

五 島 崇



監 事

岩 崎 幸 治

